

平成31年4月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,599,049	187,283	187,283	7.2%	2,411,766		
1. 営業収益	2,258,690	182,967	182,967	8.1%	2,075,723		
1. 給水収益	2,229,440	182,380	182,380	8.2%	2,047,060		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	29,250	587	587	2.0%	28,663		
2. 営業外収益	340,220	4,316	4,316	1.3%	335,904		
3. 特別利益	139				139		
9. 水道事業費用	2,690,541	34,043	34,043	1.3%	2,656,498	34,043	1.3%
1. 営業費用	2,469,885	33,901	33,901	1.4%	2,435,984	33,901	1.4%
1. 原水及び浄水費	505,430	12,329	12,329	2.4%	493,101	12,329	2.4%
2. 配水費	374,300	6,534	6,534	1.7%	367,766	6,534	1.7%
3. 給水費	112,081	1,320	1,320	1.2%	110,761	1,320	1.2%
4. 受託工事費							
5. 業務費	164,244	960	960	0.6%	163,284	960	0.6%
6. 総係費	123,993	12,757	12,757	10.3%	111,236	12,757	10.3%
8. 減価償却費	1,131,737				1,131,737		
9. 資産減耗費	58,100				58,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	199,969				199,969		
3. 特別損失	687	142	142	20.7%	545	142	20.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,087,479	2,203	2,203	0.2%	1,085,276		
1. 企業債	705,500				705,500		
2. 負担金・補償金	80,866				80,866		
3. 補助金	183,333				183,333		
4. 出資金	108,404				108,404		
5. 加入金	9,376	2,203	2,203	23.5%	7,173		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	2,525,302	2,801	2,801	0.1%	2,522,501	36,056	1.4%
1. 建設改良費	1,522,429	2,801	2,801	0.2%	1,519,628	36,056	2.4%
1. 取水施設整備費	66,059				66,059		
2. 導水施設整備費							
3. 浄水施設整備費	105,721				105,721		
4. 送水施設整備費							
5. 配給水施設整備費	1,346,294	2,801	2,801	0.2%	1,343,493	36,056	2.7%
6. 管理施設整備費	2,055				2,055		
7. 消防設備整備費	2,300				2,300		
2. 企業債償還金	702,873				702,873		
3. 長期貸付金	300,000						
12. たな卸し資産購入限度額	47,968	1,193	1,193	2.5%	46,775	1,193	2.5%
①有収水量	7,779,100	631,392	631,392	8.1%	7,147,708		
②供給単価	286.59	288.85	288.85	100.8%	△ 2.26		
③給水原価	345.78	53.69	53.69	15.5%	292.09		
人件費	237,115	20,903	20,903	8.8%	216,212		
1. 収益の収支	193,023	18,102	18,102	9.4%	174,921		
1. 職員給与費	192,901	18,102	18,102	9.4%	174,799		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122				122		
2. 資本的収支	44,092	2,801	2,801	6.4%	41,291		
* 職員給与費	236,993	20,903	20,903	8.8%	216,090		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	9.9%	9.9%				
2. 全職員	10.6%	11.5%	11.5%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	46,693,251	46,696,051	2,799	
*減価償却累計額	19,970,899	19,970,899		
B. 流動資産	3,130,168	3,080,631	△ 49,537	
1. 現金預金	2,628,502	2,798,187	169,685	
2. 未収金	450,396	230,494	△ 219,901	
3. 貸倒引当金	△ 5,115	△ 5,115		
4. 貯蔵品	34,447	34,094	△ 353	
5. 前払費用・前払金	16,824	16,882	58	・工事前払金等
6. その他		974	974	・仮払消費税
D. 水道事業費用		33,159	33,159	
1. 営業費用		33,028	33,028	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		131	131	
1. 借方合計=A+B+D	53,782,295	53,768,717	△ 13,579	
E. 固定負債	11,719,131	11,719,131		
1. 企業債	11,460,827	11,460,827		
2. 引当金	258,304	258,304		
F. 流動負債	929,242	740,165	△ 189,077	
1. 企業債	697,683	697,683		・償還元金
2. 未払金	216,415	12,665	△ 203,751	
3. 前受金	26	53	27	
4. 引当金	14,621	14,621		・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	496	15,143	14,647	
うち仮受消費税		13,987	13,987	
G. 繰延収益	10,236,815	10,238,855	2,040	
1. 長期前受金	10,236,815	10,238,855	2,040	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,958,876	3,958,876		
H. 資本金	10,683,621	10,683,621		
1. 自己資本金	10,683,621	10,683,621		・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	237,472	237,472		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	214,572	214,572		
K. 水道事業収益		173,459	173,459	
1. 営業収益		169,457	169,457	
2. 営業外収益		4,002	4,002	
3. 特別利益				
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	53,782,295	53,768,717	△ 13,579	

a. 供給単価 (円、銭)	267.46	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く	
①実数値	52.31	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	216.98	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	73.37%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	84.14%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	415.52%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	378.05%	=現金預金÷流動負債	

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成31年4月期 業務実績報告書（水道管理課）

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,469	30,469	30,500	30,608	△ 31	△ 139
2 調定水量	m ³	626,701	626,701	624,000	627,739	2,701	△ 1,038
3 調定料金(税抜)	円	168,757,316	168,757,316	168,000,000	169,363,593	757,316	△ 606,277
4 口振加入件数	件	25,119	25,119	—	25,162	—	△ 43

2 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	78,818	—	79,848	△ 1,030
6 給水件数	件	30,425	—	30,448	△ 23
7 開栓処理件数	件	498	498	477	21
8 閉栓処理件数	件	245	245	276	△ 31
9 給水工事設計審査	件	75	75	78	△ 3
10 給水工事竣工検査	件	76	76	83	△ 7
11 経年メーター交換	件	627	627	529	98
12 メーター口径変更	件	4	4	2	2
13 月末停止件数	件	1	113	109	4

3 料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	182,101,948円	0.09%	181,953,202円	0.52%
15 過年度分	18,244,313円	90.36%	18,154,988円	90.68%
16 計	200,346,261円	—	200,108,190円	—

4 給水装置工事指定業者（市内 1社廃止）

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	15	12	13	9	8	14	6	103	122	225

5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項 目	累 計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
入札件数	12	12	0	0	0	0	1	1	11	11	0	0
契約締結	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	10	10	0	0	0	0	0	10	10	0	0
	随契	2	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0
	合計	12	12	0	0	0	0	1	1	11	11	0

《中止 当月 0件/累計 0件》《不調 当月 0件/累計 0件》《取消 当月 0件/累計 0件》《未契約 0件》

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	0	0	
中間検査	2	2	工事
合 計	2	2	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	3 日	4 月 事業打合せ等
事業調整会議	4 日	第 1 回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	9 日	第 1 回 平成31年度事業計画について
水道事業連絡会議	10 日	第 1 回 業務報告、日程調整、業務打合せ
水道ブースター会議	16 日	4 月期 平成31年度事業計画について
給水拠点設置訓練	22 日	4 月期 中田総合支所
経営分析会議	22 日	3 月期 各種経営分析等
例月出納検査	24 日	3 月期 例月出納検査
指名委員会	3・23 日	第 1 回・第 2 回
入札	12 日	12 件
緊急メールの発信	— 日	漏水 6、破損 3、訓練 1

特 記 事 項

1. 4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は182,380千円（税込）で、前月期に比べて8,469千円の増で、対前年同月比では533千円の減となっています。営業収益は手数料収益587千円を含む182,967千円、営業外収益は事務手数料4,232千円を含む4,316千円となりました。

当期の営業費用は33,901千円、特別損失は142千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金2,203千円のみ執行となっています。

支出は、事務費として2,801千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,193千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 給水拠点設置訓練

4月22日（月）中田総合支所において給水拠点設置訓練を実施しました。災害時に迅速な給水活動を行えるよう、総合支所には給水タンクを配備しており、職員や協力者の連携強化のため総合支所9箇所に消防防災センターを含めた10箇所を一月毎に巡回して行っているものです。給水タンクの組立から給水まで一連の作業訓練を行いました。



組立の様子



組立完了



(2) 資金管理運用委員会を開催

4月12日（金）に資金管理運用委員会を開催しました。4月16日に2億円（仙台銀行）と4月18日に3億円（みやぎ登米農協）の定期預金が満期を迎えることから、今後の資金運用について協議を行い、引き続き仙台銀行に2億円、みやぎ登米農協に3億円を1年間の定期預金とすることとしました。

(3) 災害訓練を実施

4月2日（火）に4月期の災害訓練を実施しました。

4月の人事異動に伴い体制に変更があったため、災害時の配備体制や時間外の連絡体制についての確認を行ないました。

水道事業所では、災害時における迅速な対応強化を図るため、今後も定期的に災害訓練を実施します。



説明の様子

(4) 職員会議を開催

4月2日（火）に第1回職員会議を開催しました。水道事業所は、地方公営企業法第39条第1項の規定により地方公務員法の適用が一部除外されており、時間外勤務については労働基準法第36条の規定により管理者と職員との間で協定を締結する必要があります。双方で協定内容について協議した結果、協定案は承認され、協定書並びに関係書類を瀬峰労働基準監督署に提出しました。

平成31年4月期 業務実績報告書（水道施設課）

一般事項

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	805,711	805,711	778,780	785,280	26,931	20,431
総配水量	750,389	750,389	725,120	748,484	25,269	1,905
1 有効水量	676,240	676,240	676,500	676,568	△ 260	△ 328
(1) 有収水量	631,392	631,392	628,200	631,995	3,192	△ 603
(2) 無収水量	44,848	44,848	48,300	44,573	△ 3,452	275
2 無効水量	74,149	74,149	48,620	71,916	25,529	2,233
(1) 漏水量	74,535	74,535	48,000	71,661	26,535	2,874
(2) その他無効水量	△ 386	△ 386	620	255	△ 1,006	△ 641
3 有収率	84.14%	84.14%	86.63%	84.44%	-2.49%	-0.29%

※ 当月期の最大配水量は、23日（火）に記録した【26,955m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	3	66,059					66,059	0.00%
ウ 浄水施設整備事業	11	10,572					10,572	0.00%
オ 配給水施設整備事業	76	1,309,798				2,801	1,306,997	0.21%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

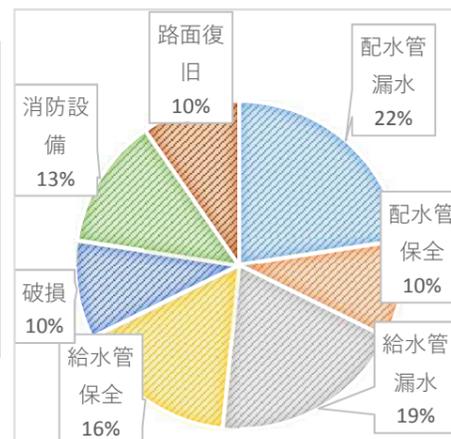
◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.57	0.43	0.44	0.55	0.46
最高	0.62	0.55	0.80	0.60	0.53
最低	0.54	0.25	0.20	0.50	0.46

◎ 特定工事発注状況

	配水管漏水	配水管保全	給水管漏水	給水管保全	破損	消防設備	浄水施設	路面復旧	その他	計
月計	7	3	6	5	3	4	0	3	0	31
累計	7	3	6	5	3	4	0	3	0	31
前年同月累計	11	11	10	1	1	3	3	5	0	45



特記事項

1. 平成31年度の主な建設改良事業について

平成31年度においては、登米市水道事業経営戦略に基づき、管路・施設等の計画的な更新・耐震化による延命化を図り次世代へ安心して安全な水を安定的に供給できるよう取り組んでまいります。

(主な事業については、右表のとおり)

事業名	主な事業概要	金額
取水施設整備事業	・下り松取水塔歩廊手摺交換工事	6,606万円
浄水施設整備事業	・原子吸光高度計更新 ・取水流量計更新 など	1億572万円
配水管整備事業	・給水申し込みによる布設工事 ・老朽管更新等による布設替工事 ・他事業工事等による移設工事 など	5億7,989万円
水道管路緊急改善事業	・老朽化した基幹管路の更新工事	5億5,000万円
機器整備事業	・配水池制御盤更新工事 ・配水池流量計等更新工事 ・監視カメラ設置工事など	1億3,452万円

2. 東針田第2増圧ポンプ場の運用開始について

4月16日（火）に東針田第2増圧ポンプ場の運用を開始しました。ポンプ場は平成30年9月から建設をはじめ、3月15日に完成したものです。増圧ポンプは、上流の配水区域内の不足圧力を補うため設置した施設で、一日最大給水量200m³/日の能力を有した施設となっています。市内には、増圧ポンプ場が40箇所あり、安定的に給水が行えるよう整備しています。



東針田第2増圧ポンプ場外観

3. 銀山増圧ポンプ場付近での漏水発生について

4月17日（水）、午前11時ごろ市民の方から通報があり漏水調査を行ったところ、銀山増圧ポンプ場付近の水道3003号線（VPφ100）からの漏水を確認しました。

同管路は、平成5年に布設し26年が経過したもので、輪荷重の走行繰返しによって、疲労損傷が生じたことが起因した管体の亀裂による漏水でした。

前日に、東針田第2増圧ポンプ場が運用開始したことから、他のルートからの給水切り替えが可能となったことから、断減水等がなく漏水修理が完了し、午後6時00分工事が完了しました。



漏水修理している様子

4. 平成31年4月の漏水調査結果について

4月末の漏水調査の結果は、7件33.346m³/h(累計)の漏水を発見しました。4月末での有収率は84.1%となっており、平成31年度末で、計画有収率87.0%を目標に調査を実施します。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	6	33.340
	付属施設	0	0.000
	給水管	1	0.006
	計	7	33.346